

Google Antigravity セットアップガイド

バージョン: v1.0

対象OS: Windows / macOS

所要時間: 約20分

前提: Chromeブラウザ、個人Gmailアカウント

このガイドについて

Google Antigravityは、Googleが開発したAIエディタ（AI搭載の統合開発環境）です。Geminiが搭載されており、AIがファイルの作成・編集・実行を自律的に行います。

このガイドでは、ダウンロードから初期設定、日本語化、UIテーマのカスタマイズまでを解説します。プログラマーでなくても大丈夫です。

費用: 個人利用は無料（パブリックプレビュー期間中）

注意: Google Workspaceアカウントは現在非対応。個人のGmailアカウントが必要です。

1. ダウンロードとインストール

1.1 ダウンロード

公式サイトからインストーラーをダウンロードします。

1. Chromeで <https://antigravity.google/download> を開く
2. お使いのOSに合ったボタンをクリック

OS	ボタン	ファイル形式
Windows	Download for Windows	`.exe`
macOS	Download for Mac	`.dmg`

1.2 インストール（Windows）

1. ダウンロードした `\*.exe` ファイルをダブルクリック
2. 「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか？」 → はい

3. インストール先を確認し、**Install** をクリック
4. インストール完了後、**Launch Antigravity** をクリック

1.3 インストール (macOS)

1. ダウンロードした `.dmg` ファイルをダブルクリック
2. 表示されたウィンドウで、Antigravityアイコンを **Applications** フォルダにドラッグ
3. Launchpad または Applications フォルダから **Antigravity** を起動
4. 「インターネットからダウンロードされたアプリケーションです」 → **開く**

2. 初回セットアップウィザード

起動すると、初回セットアップウィザードが表示されます。

2.1 設定のインポート (Setup Flow)

VS CodeやCursorを使ったことがある方は、既存の設定をインポートできます。

選択肢	おすすめ
Import from VS Code	VS Codeの設定・拡張機能を引き継ぐ場合
Import from Cursor	Cursorの設定を引き継ぐ場合
Start fresh	初めての方、まっさらな状態で始めたい方

初めての方は **Start fresh** を選んでください。

2.2 エディタテーマの選択

DarkテーマとLightテーマを選択できます。ここではどちらを選んでも構いません（後でページユ系テーマに変更します）。

2.3 AIエージェントの自律度設定

AIにどの程度自律的に動いてもらうかを設定します。**4つのモードから選択**します。

モード	説明	おすすめ
Secure Mode	セキュリティ重視。AIの行動を厳しく制限	セキュリティが気になる方
Review-driven	AIが頻繁に確認を求める	初心者におすすめ
Agent-driven	AIが自律的に作業を進める	AI協働に慣れた方
Custom	細かく設定をカスタマイズ	上級者向け

推奨: 初めての方は *Review-driven development* を選んでください。AIが作業のたびに確認を求めてくるので、安心して使えます。慣れてきたら *Agent-driven* に変更できます。

各モードは以下の3つのポリシーを制御します:

- **Terminal execution:** ターミナルコマンドの実行許可
- **Review policy:** AIの作業を人間が確認するタイミング
- **JavaScript execution:** ブラウザ上でのスクリプト実行許可

2.4 キーバインド・言語・コマンドラインツール

設定項目	説明
Keybindings	キーボードショートカットの設定。デフォルトでOK
Language extensions	プログラミング言語の拡張機能。後で追加可能
Command-line tool	ターミナルから `agy` コマンドでAntigravityを起動する設定

すべてデフォルトのまま進めて構いません。

2.5 Googleアカウントでサインイン

1. **Sign in with Google** ボタンをクリック
2. Chromeが開き、Googleアカウントのログイン画面が表示される
3. **個人のGmailアカウント**でログイン（Workspaceアカウントは非対応）

4. 権限の許可を確認し、許可をクリック

2.6 利用規約への同意

利用規約を確認し、同意してください。これでセットアップウィザードは完了です。

3. UIを日本語化する

Antigravityのメニュー（File, Edit, View...）を日本語に変更します。設定30秒で完了します。

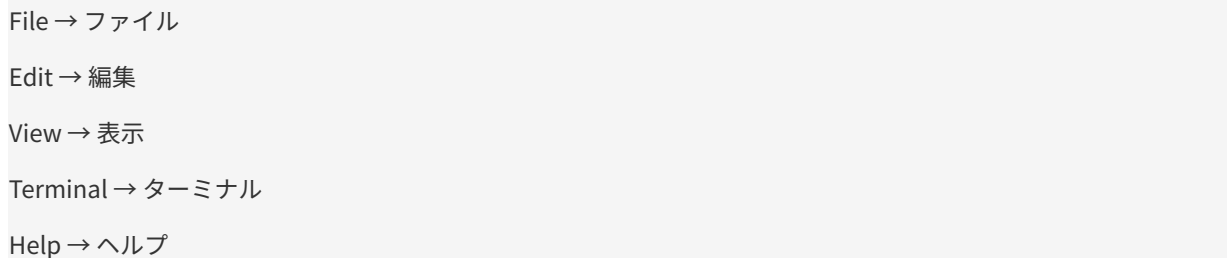
3.1 Japanese Language Packをインストール

1. 左サイドバーの一番下にある **Extensions（拡張機能）アイコン** をクリック
 - アイコンは四角が4つ並んだ形です
 - ショートカット: `Ctrl+Shift+X`（Windows） / `Cmd+Shift+X`（macOS）
1. 検索バーに `Japanese` と入力
1. **Japanese Language Pack for Visual Studio Code**（Microsoft製）を見つけ、**Install** をクリック

3.2 再起動して日本語を適用

インストール完了後、右下に **Restart** ボタンが表示されます。クリックしてAntigravityを再起動します。

再起動後、メニューバーが日本語になっていることを確認してください。



File → ファイル
Edit → 編集
View → 表示
Terminal → ターミナル
Help → ヘルプ

3.3 日本語が適用されない場合

自動で切り替わらない場合は、以下の手順で手動設定します。

1. コマンドパレットを開く

- Windows: `Ctrl + Shift + P`
- macOS: `Cmd + Shift + P`

1. **Configure Display Language** と入力して選択

2. **ja (日本語)** を選択

3. 再起動を求められるので **Restart**

注意: UIは日本語になりますが、AIの応答はデフォルトで英語の場合があります。AIに日本語で応答させるには、プロジェクトのルートに `GEMINI.md` ファイルを作成し、`Always answer in Japanese` (常に日本語で応答してください) と記載します。

4. UIをベージュ系テーマに変更する

デフォルトのテーマを、目に優しいベージュ系の暖かい色合いに変更します。**Catppuccin Latte** テーマを推奨します。

Catppuccin Latte とは

Catppuccin は、低コントラストと高コントラストの中間を目指したパステル系テーマです。4つのフレーバーがあり、**Latte** (ラテ) がベージュ系のライトテーマです。

フレーバー	色合い	用途
Latte	ベージュ・クリーム系 (ライト)	今回使用
Frappé	パステル系 (ダーク)	暗い画面が好みの方
Macchiato	やや濃いパステル (ダーク)	—
Mocha	最も暗いパステル (ダーク)	—

4.1 テーマ設定を開く

コマンドパレットからテーマ設定を開きます。

- Windows: `Ctrl + K` → `Ctrl + T`
- macOS: `Cmd + K` → `Cmd + T`

または: メニュー → **ファイル** → **ユーザー設定** → **配色テーマ**

4.2 Catppuccin Latteをインストール

1. テーマ一覧の最下部にある **追加の配色テーマをインストール...** をクリック
2. 検索バーに **`Catppuccin`** と入力
3. **Catppuccin for Antigravity**（または **Catppuccin for VSCode**）を見つけ、**Install** をクリック

4.3 Catppuccin Latteを適用

1. 再度テーマ設定を開く（`Ctrl+K → Ctrl+T` / `Cmd+K → Cmd+T`）
2. 一覧から **Catppuccin Latte** を選択
3. プレビューが表示されるので、確認して `Enter` で確定

ヒント: テーマ一覧をスクロールすると、選択前にライブプレビューが表示されます。気に入った色合いが見つかるまでスクロールして試してみてください。

4.4 適用後の確認

Catppuccin Latteが適用されると、以下のような色合いになります:

- **背景:** 温かみのあるベージュ / クリーム色
- **サイドバー:** 薄いベージュ
- **テキスト:** 暖かみのあるダークブラウン
- **アクセント:** パステルカラー（ピンク、ティール、ラベンダー等）

5. 動作確認 — 最初のプロジェクトを開く

セットアップが完了したら、実際にAIと対話してみましょう。

5.1 フォルダを開く

1. **ファイル → フォルダーを開く**（`Ctrl+K Ctrl+O` / `Cmd+K Cmd+O`）
2. 作業用のフォルダを選択（または新規作成）

5.2 AIに話しかける

画面下部のチャット欄に、以下を入力して送信します。

自己紹介をしてください。あなたは何かができますか？

AIが応答すれば、セットアップは正常に完了しています。

<!-- 画像: AIとの最初の対話 -->

[画像: 最初の対話]

5.3 AIに日本語で応答させる設定

AIの応答が英語の場合、プロジェクトのルートに設定ファイルを作成します。

チャット欄に以下を入力してください:

プロジェクトのルートに GEMINI.md というファイルを作成して、
以下の内容を書いてください:

```
# プロジェクト設定  
- 常に日本語で応答してください  
- ドキュメントは日本語で作成してください
```

AIが`GEMINI.md` ファイルを自動作成します。これ以降、AIは日本語で応答します。

セットアップ完了チェックリスト

#	項目	確認
1	Antigravityがインストールされ、起動できる	☐
2	Googleアカウントでサインイン済み	☐
3	メニューが日本語で表示されている	☐
4	Catppuccin Latteテーマが適用されている	☐
5	AIと日本語で対話できる	☐

すべてにチェックが入れば、準備完了です。

トラブルシューティング

症状	対処法
----	-----

インストーラーが起動しない (Windows)	右クリック → 「管理者として実行」を試す
「開発元を検証できない」 (macOS)	システム設定 → プライバシーとセキュリティ → 「このまま開く」
Googleサインインが失敗する	個人Gmail (@gmail.com) を使用しているか確認。 Workspaceアカウントは非対応
日本語パックが見つからない	Extensions検索で「Japanese Language Pack」と正確に入力
テーマが適用されない	Antigravityを再起動 (`Ctrl+Shift+P` → `Reload Window`)
AIが英語で応答する	`GEMINI.md` に「常に日本語で応答してください」を記載

参考リンク

- [Google Antigravity 公式サイト](#)
 - [Google Antigravity ダウンロード](#)
 - [公式ドキュメント](#)
 - [Getting Started Codelab](#)
 - [Catppuccin テーマ公式](#)
-